

I N V E S T O R S ' G U I D E

# ゼネラルパッカー通信

2019年7月期(第58期)中間

2018年8月1日→2019年1月31日



世界の品質を  
“包装”で守る



包装システムのトータルプランナー

**ゼネラルパッカー株式会社**

証券コード 6267

# さらなる成長を目指し、 国内市場の安定収益の確保と 海外市場での販売体制強化に 取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに当社第58期第2四半期累計期間(2018年8月1日から2019年1月31日まで)の営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 牧野 研二



百万円の増加となりました。食品機械業界の事業環境は、国内の需要は堅調に推移しています。また、輸出においてはアジア地域向けが回復基調で推移しています。製パン・製菓機械においては、2018年の生産額は前年比0.5%減となり、横ばい基調が続いています。当社の生産機械の業績においては、大型プラントの実績が増加したことに加え、高額案件の前倒し実績等により、売上高は前年同期比399百万円の増加となりました。受注動向に関しましては、大型プラントの受注実績が無かったため受注高、受注残高ともに減少となりましたが、下期の受注につきましては大型案件の確保で大幅な増加を目指していきます。

## 当期前半の事業環境と営業活動の成果

包装機械業界の事業環境は、国内の需要は好調に推移しているとともに、輸出においても北米地域向けが好調に推移しています。品目分類においては、当社の主要対象市場である製袋充てん機が生産金額が2018年において前年比6.4%増となり、高水準を保っています。(経済産業省 生産動態統計より) 当社の包装機械の業績においては、売上高は高価格機種の販売台数増加により、前年同期比283百万円の増加となりました。また、高額案件の受注増加により、機械受注高は前年同期比193百万円、機械受注残高は前年同期比509

## 第5次中期経営計画の進捗

第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)は、「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」を基本戦略に掲げています。また、3年間の計画期間を「連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期」と位置付け、連結決算での利益率の向上と収益の拡大を図ることに取り組んでおります。

中期数値目標につきましては、当初の予定として2020年7月期において売上高7,700百万円、経常利益475百万円、親会社株主に帰属する当期純利益320百万円を設定しておりました。この目標ですが、好調な業績もあり第2期目となる2019年7月期には達成する見込みであります。2020年7月期の新たな目標に関しましては、今後の事業環境と受注動向を踏まえて見直す予定です。

基本戦略である海外事業の拡大については、中国子会社での生産・アフターサービス体制の確立に取り組んでおります。中国子会社の上期売上高は、高額案件が減少したことから前年同期を下回りましたが、下期は増加する見込みであります。販売体制の強化として、既存代理店の販売支援に取り組んでいますが、今期はアメリカ代理店による受注台数が増加しています。下期は中国で代理店を1社追加しましたが、さらに新規代理店の開拓にも取り組んでまいります。

## 当期後半の見通しと通期業績予想

当期後半の業績は、包装機械においては、自動包装機の増加により増収となる見通しです。生産機械においては、大型プラントの増加により増収となる見通しです。

通期業績見通しにつきましては、売上高8,300百万円、(前期比16.9%増)、営業利益596百万円(前期比60.2%増)、経常利益600百万円(前期比59.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益420百万円(前期比61.3%)を見込んでいます。

## 株主の皆様へメッセージ

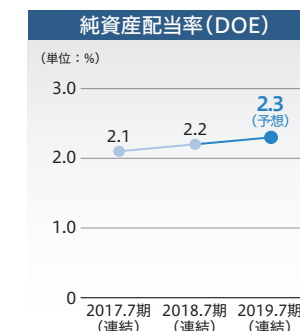
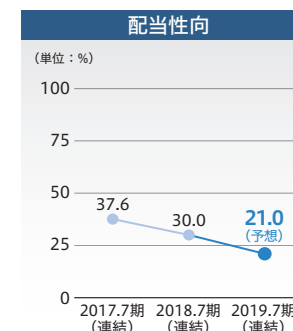
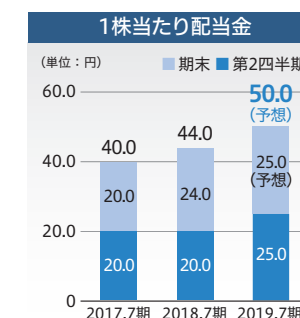
2019年7月期の中間配当は、期初予想では20円を予定していましたが、第2四半期決算で利益が計画を上回りましたので、5円増配して25円に変更しております。年間では50円を予定しております。

当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。





### 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

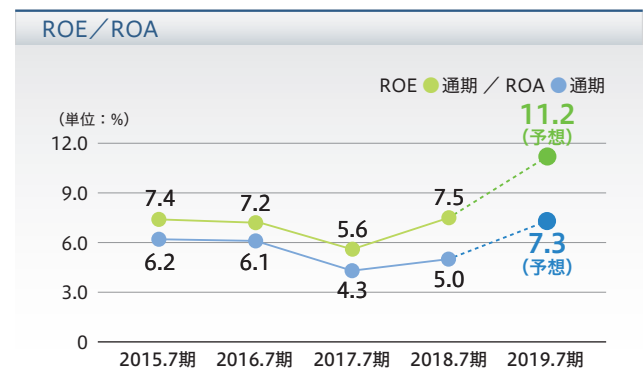
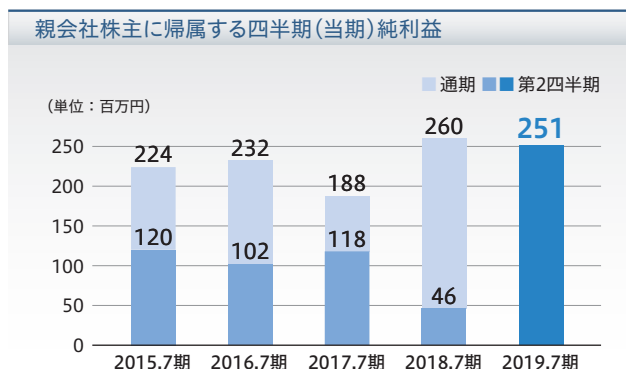
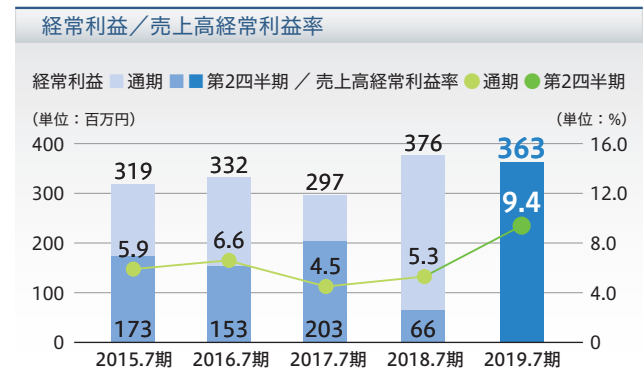
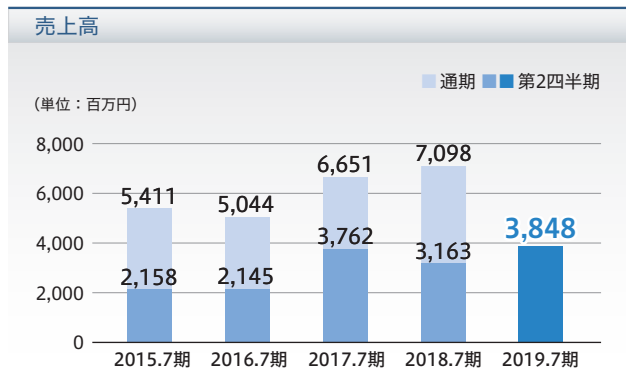
このような状況のなか、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化、生産力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業・生産機械事業ともに好調に推移した結果、前年同期に

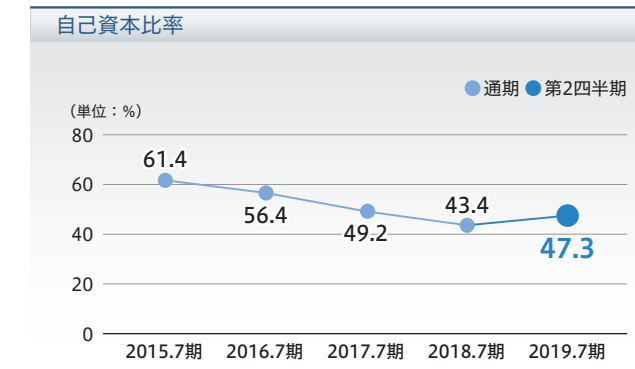
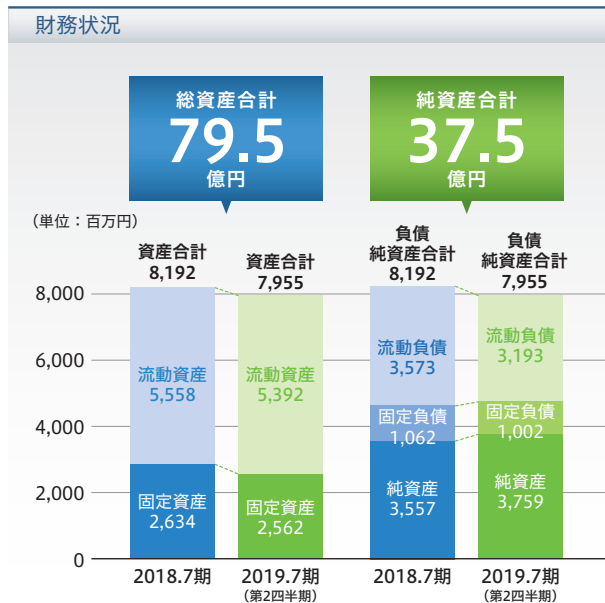
比べ685百万円の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における売上総利益率の改善に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ大幅な増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業は、売上高は3,017百万円、営業利益は310百万円となりました。また、生産機械事業は、売上高は831百万円、営業利益は50百万円となりました。



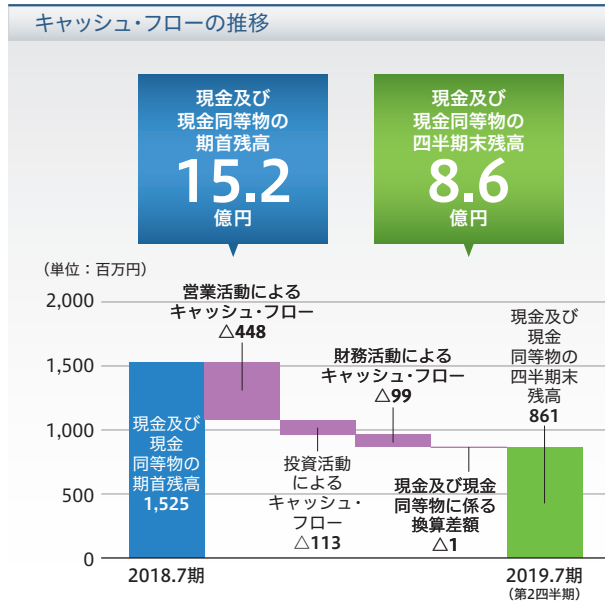
(注)2016年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社いたしました。そのため、2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。



#### 財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は7,955百万円となり、前連結会計年度末に比べて237百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が464百万円増加したものの、現金及び預金が563百万円、無形固定資産が40百万円、それぞれ減少したこと等によります。

負債合計は4,195百万円となり、前連結会計年度末に比べて439百万円減少いたしました。この主たる要因は、前受金が240百万円、仕入債務が63百万円、長期借入金55百万円、それぞれ減少したこと等によります。



#### キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ283百万円増加し448百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益363百万円等であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額256百万円、前受金の減少額239百万円、未収入金の増加額143百万円等であります。

包装機械



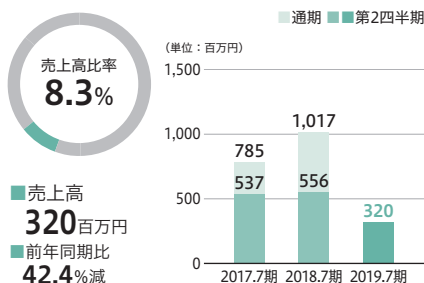
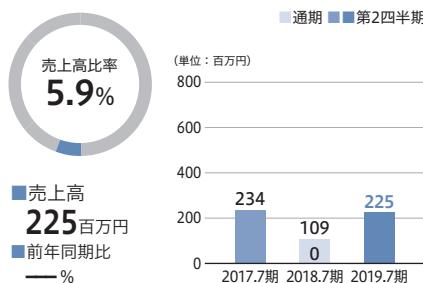
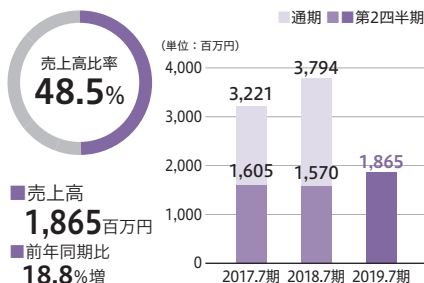
包装機械事業におきましては、高価格機種の実績が増加したこと等から、売上高は3,017百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は310百万円(前年同期比421.3%増)となりました。



給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

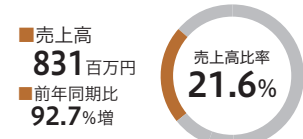
包装関連機器等



生産機械

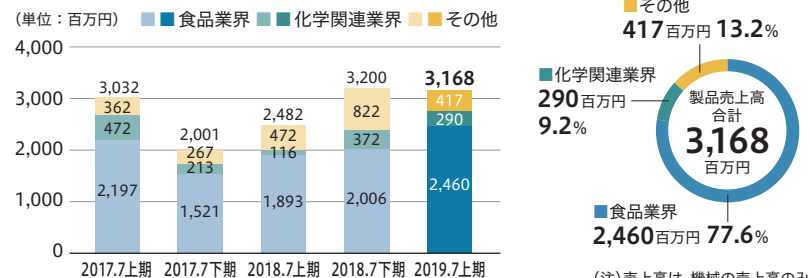
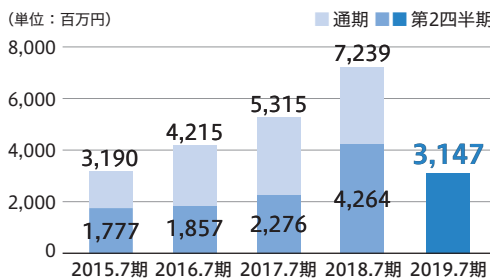


生産機械事業におきましては、大型のプラント案件の販売実績が増加したこと等から、売上高は831百万円(前年同期比92.7%増)、営業利益は50百万円(前年同期比46百万円の増加)となりました。



機械受注高

最終ユーザー業界別売上高

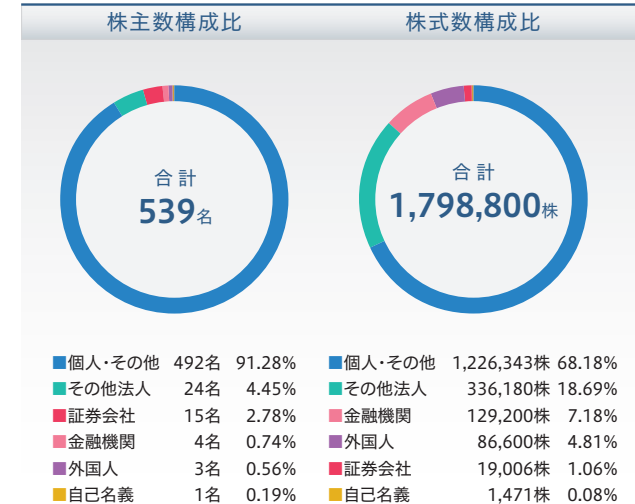


(注)売上高は、機械の売上高のみ

会社概要 (2019年1月31日現在)	
商号	ゼネラルパッカー株式会社
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設立	1966年2月(創業1961年12月)
資本金	2億5,157万7千円
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従業員数	177名(連結) 149名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地 Tel.(0568)23-3111(代) Fax.(0568)22-3222
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F Tel.(03)3256-3891(代) Fax.(03)3256-3893
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司

役員 (2019年1月31日現在)	
代表取締役社長	牧野 研二
取締役会長	梅森 輝信
取締役副社長	小関 幸太郎 (オサ機械株) 代表取締役
常務取締役	鈴木 完繁 (オサ機械株) 代表取締役社長
取締役	尾関 津義 (蘇州日技通用包装机械有限公司) 董事長
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎
社外取締役(監査等委員)	福田 哲哉

株式の状況 (2019年1月31日現在)		
発行可能株式総数	5,600,000株	
発行済株式総数	1,798,800株	
株主数	539名	
大株主 (2019年1月31日現在)		
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.02
ゼネラルパッカー従業員持株会	246,900	13.74
MSIP CLIENT SECURITIES	86,400	4.80
ゼネラルパッカー取引先持株会	84,500	4.70
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
高野 季久美	77,800	4.33
田中 かな	77,800	4.33
梅森 輝信	53,700	2.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	48,700	2.71
島末 孝法	39,200	2.18



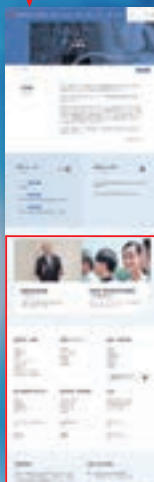
# ホームページをリニューアルしました!

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

▼トップページ



▼IRページ



企業ホームページ  
最優秀サイト

日興アイ・アール  
新興市場ランキング

8年連続受賞

## 主なコンテンツ

### 経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧ください。

### 決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

### 個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。

<http://www.general-packer.co.jp/ir/>

## 株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日
	期末配当金 7月31日
	中間配当金 1月31日
	その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

包装システムのトータルプランナー  
**ゼネラルパッカー株式会社**

### 本社・工場

〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
Tel.(0568)23-3111(代) Fax.(0568)22-3222

### 東京営業部

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F  
Tel.(03)3256-3891(代) Fax.(03)3256-3893

### 同事務取扱場所

〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店

### お問い合わせ先

〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)

### 公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 公告掲載URL

<http://www.general-packer.co.jp/>

### 各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

